広報 あま 海士

◆編集発行　島根県隠岐郡海士町役場
TEL（08514）２－０１１１
◆印　刷　信栄堂印刷（海士町菱浦）
Eメール:info@town.ama.shimane.jp

平成20年 11 No.416

集い～芸術・文化に触れる秋

新鮮な魚類を求めて開店前から店頭付近は大賑わい

丹精こめた出展の数々に魅了

芸能祭にて、海士小学校『伝統・文化の継承！』神楽を披露。

産業文化祭のフィナーレは恒例の撒餅

町の人口世帯数

総人口	2,380人	(－23)
男	1,116人	(－14)
女	1,264人	(－9)
世帯数	1,085世帯	(－11)

住民基本台帳（１０月末現在）
（ ）内は８月末との比較

＊＊文化かおる秋＊＊

第３８回海士町産業文化祭が１０月２５日～２６日にかけ隠岐開発総合センター周辺を会場に行われました。初日は店舗オープン前から新鮮な農産物や、漁類を買い求める人達で賑わいました。また、メイン会場となるセンター内では、手芸、絵画、生花、書道など芸術あふれる作品の数々を魅了することができました。

２日目の芸能祭では、小学生からお年寄りの方々が日頃の練習の成果を堂々と発表し、観客に感動を与えた一時でした。

（関連記事 P5）

主な内容

- 町の話題……2～3
- 第38回海士町産業文化祭他 …4～5
- 財政状況の公表他……6～7
- 議会だより……8～11
- 教育だより他……12～17
- 隠岐島前高校だより……18
- お知らせ……19～21
- 戸籍の窓……22

町政の経営指針　自立・挑戦・交流　～そして確かな明日へ～

白寿を祝い記念品贈呈

今年も各地区で敬老の祝賀行事が行われ、80歳以上の対象となった方は391名（95歳以上15名）おられます。

海士町の最高齢者は、山根トモさん（満100歳）です。

今年の白寿の対象者となられたのは、竹口テリさん（宇受賀）（満99歳）と中山カネさん（満99歳）（諏訪苑在住）です。お二人には敬老の日の記念行事として、内閣総理大臣より祝状と記念品が贈呈されました。また、海士町長からも記念品を贈りお祝いしました。

◆竹口テリさん（写真右）

明治41年12月19日生まれ。しっかりと祝詞を手に笑みをこぼすテリさん。毎日が楽しく、出会った人と話をするのが大好きです。まだまだ元気いっぱいのテリさんです。後方の掛け軸の書はテリさんご本人が書かれたものです。趣味多才なテリさんには驚かされます。ますますお元気で！

◆中山カネさん（写真左）

明治42年3月6日生まれ。カメラ目線でとっておきの笑みのカネさん。歌や踊りが大好きで昔なつかしい民謡に心を弾ませます。少し耳が遠くなりましたがお話しが大好きで社交的なカネさんです。お二人のご健康とご多幸を心よりお祈り致します。

【海士町の生産現場に活力と島の未来に光りを…】

（株）第一川崎屋 桃太郎すし 海士町より感謝状贈呈！

海士町より第一川崎屋桃太郎すし篠原店長に感謝状を渡す。

今年度より、海士町の海産物の販売促進にご尽力頂いております、東京都内の（株）第一川崎屋桃太郎すし全店舗に、海士町より感謝状を贈呈させて頂きました。

同社は、都内にすし店、焼肉店、鰻店等を経営されています。

本町とは、テレビ放映をご覧頂いたのがご縁で、川崎会長様をはじめ責任者の方々が来島され、直接、本町の環境や生産現場を見て頂いたことがきっかけとなり、今年8月には、東京で行われたイベントに参加させていただくなど繋がりを深めさせて頂きました。

今回、実際に店舗を拝見致しましたが、お客様とのコミニュケーションをとても大切にされており、誰でも気軽に入れるお店の雰囲気には心が和みます。馴染みのお客様も多く、まさに地域に密着したお店と言えます。

10月より、「隠岐フェアー開催中」の横断幕が店の玄関を飾り、「今日の一番　さざえの壷焼き」「炙り剣先いか3カン盛り、姿にぎり・岩がき」など工夫されたメニューがお勧めで提供されていたことに感激の念でいっぱいです。

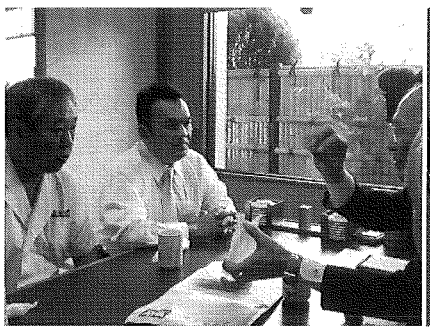
百瀬社長、安藤店長様からは、『良いものを送ってもらっています。頑張って販売させていただきます。』『白いか炙りはお客さまに喜んで頂いております』『商売としてお互いメリットを考え、長いお付き合いをしたいですね』など熱い言葉をいただきそれにお答えできる海士町でありたいと痛感致しました。

当日は、お客様の待合時間にと海士の食材や風景が撮影されたＤＶＤの提案や、テレビ撮影もありましたが、営業中にも関わらず御協力いただきました。

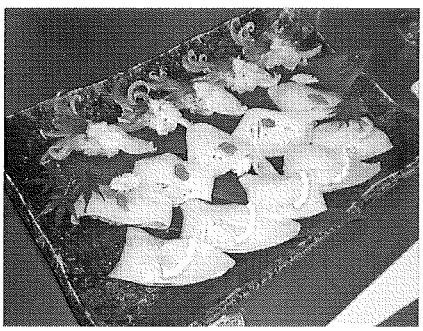
現在、島風便「ＣＡＳ旬感凍結」商品の他、海士町漁協へ直接鮮魚・貝類のご注文も頂いており、これからも安心安全はもちろんのこと、新鮮さと美味しさ、そして漁師さんの想いを添えお届けできるものと思います。

東京在住の皆様方はもちろんのこと、ご親戚、ご関係の方がございましたら、是非一度お立ち寄りくださいませ。

▼桃太郎すしアクセス先
http://www.momotarosushi.jp/



お客様の反応や今後の取組み協議



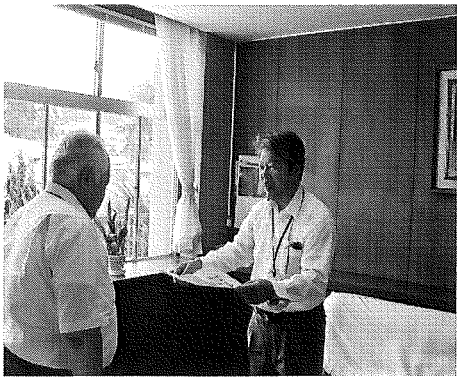
提供いただいている剣先いかにぎり

道路反射鏡（カーブミラー）の寄贈

～人命保護と被害の軽減に寄与するため～

隠岐どうぜん農業協同組合ならびに全国共済農業協同組合連合会島根県本部・(財)農協共済福祉事業団より交通事故撲滅運動に役立ててほしいと、共済事業の資金により交通事故防止機器（道路反射鏡）3基の寄贈がありました。町では、交通安全対策に有効に活用させていただきます。

有難うございました。

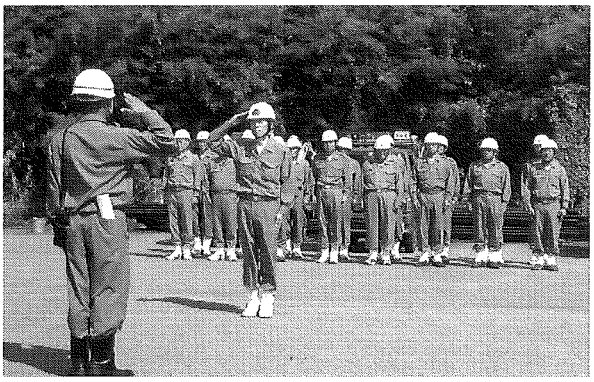


部隊訓練きびきびと

～海士町消防団～

去る9月7日（日）海士町消防団夏季訓練を日須賀地区海岸において、団員76名の参加で行われました。

今回の訓練は、部隊訓練（通常点検）と消防器具の取扱に関する基礎知識の習得・体得と小型ポンプを操作し放水訓練を実施。消防操法の初歩的な取り組みを若手団員は真剣な面持ちで取り組んだ一日でした。町民の生命と安全を守るために迅速で正確な対応が期待されます。



海士町の未来をつくる会

第四次海士町総合振興計画の策定に向けて

～住民の皆様へ報告会～

第四次海士町総合振興計画では、「ひと」「産業」「暮らし」「環境」の四つのチームが海士町の未来のために実現したいアイディアを紹介します。

「ひと」チームは、住民同士、住民と来訪者が交流する拠点やしくみをつくりたいと考えています。

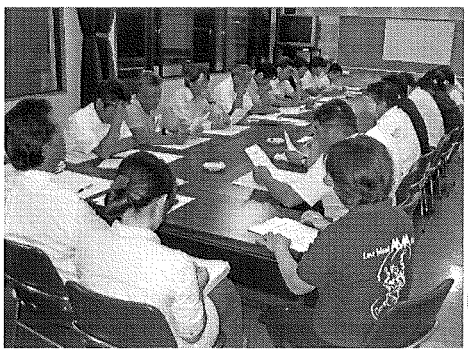
「産業」チームは、一次産業の基盤となる里山・里海づくりと顔の見えるものづくりをしたいと考えています。

「暮らし」チームは、身近な幸せに気づき、最後まで幸せに暮らせるしかけづくりをしたいと考えています。

「環境」チームは、美しい自然環境と生活環境を残すための啓発活動と行動を起こすきっかけづくりをしたいと考えています。

これらのアイディアについては、9月23日に「海士町の未来をつくる会報告会」として各チームが住民の皆様へ向けて発表しました。この発表の後、会場に来られた住民の皆様に実施したアンケートには「各々に素晴らしい計画を立てていて嬉しくなりました。これをぜひ広めて全町民に協力して貰えることを期待しています。私も出来る限り協力したいと思います。声かけてください！」「特に若い者がよりよい町づくりを考えているので、安心しました。行政に要求するのでなく、具体的に自分達で出来る事を提案しているのが素晴らしいです。こんな素晴らしい事は町民全員に知らせてほしいと思います。」等、たくさんの意見をいただきました。報告会においでいただいた皆様、ありがとうございました。

今後は、これらのアイディアを盛り込んだ第四次総合振興計画をつくり、まちづくりのアイディアだけを集めた冊子もつくる予定です。



9月下旬、策定委員会での討論の様子

第44回 近畿 ～故郷に想い馳せて～

石田信行会長

近畿海士後鳥羽会総会が10月5日（日）大阪太閤園別館ガーデンホールでおこなわれました。

この会は、会員相互の親睦をはかり郷土の発展に寄与しようという目的で、年に一度開催されているものです。当日は、近畿圏域から170名余りの方々が会場に訪れ、総会、そして懇親会が行われ、久しぶりに会う仲間とふるさとの思い出に浸る一時となりました。懇親会では、にわかや民謡で会場は盛大な拍手やかけ声で盛り上がりました。

また、数々のカラオケや、お楽しみ抽選会等盛りだくさんの催しがあり、ふるさとへの熱い想いと尽きることない昔話にあっという間に時が経ち、なごりおしくも盛会に終える事ができました。

また、会場の皆さまには、CAS商品である海士の白いかの一夜干し「しーしび」と「こじょうゆ」をご提供したところ大変好評をいただいたり、地元(有)海士物産をはじめ、地産地商課の職員が(株)ふるさと海士のCAS商品等を販売。なつかしいふるさとの産物をたくさんご購入いただくことができました。

会員の皆さまのご健康と近畿海士後鳥羽会が益々ご発展されることを願っています。

近畿圏域から170名余りが出席され、今年も盛会でした。

＊◆＊第44回近畿海士後鳥羽会からのお礼◆＊◆＊

過日は第44回近畿海士後鳥羽会総会に、ご多忙中にもかかわらず御出席を賜り誠に有難うございました。恒例の総会開催ではございましたが、170名余りの参会者をいただき、盛会に挙行された事これも偏に皆々様の御陰と、世話役一同心より喜びと感謝の念でいっぱいでございます。(途中抜粋)お料理には海士町よりご持参いただいた、一夜干しの烏賊と島自慢の海士の塩で丹精込めて作られたこじょうゆ味噌で御馳走になり、久しぶりに海士の懐かしい香りを満喫いたしました。また年に一度の出合いの場となり、お互いにお元気な様子を確かめ合い幸せを感じる一時でもありました。

私達の故郷海士町が第1回『地域づくり総務大臣表彰』大賞を受賞した知らせに海士町の皆様の努力する熱い思いが国の方へ届き本当に嬉しく喜ばしい事です。『海士町の皆様、おめでとうございました。』この度は我々会員一同に伝わり再度感動し誇りに思いました。海士町よりパワーをしっかりと貰い、良き総会となりました事、重ねて御礼申し上げます。

近畿後鳥羽会が継続できるのも、皆様のご支援、ご協力があっての事です。これからも暖かいご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが時節柄ご自愛の上、ますますご活躍されます事をお祈り致します。有難うございました。

近畿海士後鳥羽会会長　石田　信行

（＊文章は抜粋させていただきました。）

有志の方々による余芸披露

久々に会う友達に話しもはずみます。CAS商品のいかの一夜干し、こじょうゆも試食いただき、懐かしい故郷の味を楽しんでいただけたのでは・・・。

食用廃油の無料回収のご協力を！

5月から開始した食用廃油の無料回収をご存じでしょうか？皆様から回収した廃油は、清掃センターのゴミ焼却炉の燃料である灯油に廃食油20～30％を混ぜ合わせ、新エネルギーとして利用されています。

町民の皆様には、環境にやさしいリサイクルに一層のご協力をお願いします。

＊廃食油の出し方

ペットボトルやビンなどフタ（キャップ）のできる容器に油を入れ漏れないようにしてお近くのゴミ収集所に置いて下さい。（清掃センター持ち込み可）また、飲食店等事業所の方は一斗缶など油の漏れ出さない容器に入れ清掃センターへ持ち込んで下さい。

収集日について・・・

収集日は、毎月第3水曜日

▼清掃センターへ持ち込む方は随時受け付けます。

▼油を入れて出した容器は原則返品いたしません。

（生活環境課環境係）

第３８回海士町産業文化祭

テーマ：～環境を考えよう～

１０月２５日、２６日の２日間にわたり農協店舗前、役場、開発総合センター周辺を会場に恒例となった産業文化祭が開催されました。初日、朝早くから地元農産物、加工品の販売を待つ人で賑わい、また、開発センター内の作品展示コーナーでは、手芸、絵画、俳句、書道等、芸術、文化かおる秋の催しとなりました。そして、昨年に引き続き『～環境を考えよう～』をテーマに、誰もが身近にできるエコ（環境）活動としてマイバックの推進によるレジ袋の削減等、簡単に取り組める活動の紹介が展示されました。

また、海藻シンポジウムが２日間にわたり開催され、海士のくらしと海藻との関わりや自然と産業についてのお話しや、また、地元関係者からは今後１０年間の海士町の将来展望を提案するなど議論を深めた会となりました。

２日目は、畜産共進会で生産者自慢の隠岐牛の素牛を品評し、生産者同士の繋がりや交流が深まり畜産農家のますますの発展を期待するところです。

お昼からは芸能祭が催され小学生から大人まで１０団体がエントリーし自慢の腕前を披露し会場を盛り上げました。来年もまた、たくさんの町民が参加しそして交流の深まる産業文化祭になることを期待します。

かわず会のメンバーも26名になりました。勇ましいバチ捌きに魅了！

第四次海士町総合振興計画策定に向けて「環境」チーム寸劇の一場面。

東区からのエントリー。笠を付けての踊りは技量を要します。すばらしかった！また来年も期待していますよ！

レイフラワー・マリーナ・オキの皆さん。南の島へいざなうように素敵なダンスを披露してくれました。

地域の良き指導者のもと、海士小学校の皆さん、お踊り、銭太鼓、神楽の舞い等、郷土の文化をしっかり伝承しています。

マリンエコーの皆さん今年も素敵な歌声を響かせてくれました。

２日間にわたる海藻シンポジウム。水産業関係者が一同に会し、今後10年の海士町を見据えた提言発表や意見交換があり、参加者も真剣な面持ちで参加しました

恒例の共進会では、隠岐牛の素牛となる手塩にかけた子牛を品評しました。

ブレント先生の フレッシュ・アイズ・オン・あま

～外国人の新鮮な目で海士を見て～ Vol.5

この世代の人々が地球の未来を決める。環境の問題が山のようになる一方であり、その問題の原因は人間の仕業だと認めつつある。地球温暖化や資源の価格などに関して政府から家庭まで皆さんがそれぞれ出来ることを考え始めただろう。今、世界中が経済の問題に巻き込まれているから、原油の値段が下がるとアメリカで予想されている。その結果、代替エネルギー（太陽熱・風力など）の実施も研究も不安定になる。

現在、アメリカでの中産階級の住民が大勢ホームレスになっているので、環境について考えるのは優先されていない。住民の意識は経済に夢中のではないだろうか。今年の大統領選挙にはアメリカの未来がかかっていると思う。経済、エネルギー、そして「Change」が２００８年度の選挙のテーマとなっている。アメリカが変わることが出来るだろうか。

話は変わりますが、10月と言えばハロウィンだ！日本はアメリカと同じで、カボチャとか飴とか仮装はハロウィンの特徴だが、この行事の歴史を調べてみると本当にびっくりした。欧米ではハロウィンが日本のお盆と似ているそうだ。家族の墓お参りなどもする。精霊や魔女が出ると信じられているので、仮装する習慣が始まった。それに、ハロウィンのシンボル、あのカボチャだが、アイルランドと英国では、伝統的なカブを使っているらしい。さて、31日がハロウィンだから、仮装して「Trick or Treat」で訪ねて、たくさんの飴とお菓子をもらいましょう！

※ご本人が日本語で書いたのを、そのまま載せています。

第40回中国地区老人福祉施設研修大会に参加して

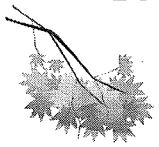
去る9月4日、5日の2日間米子市のコンベンションセンターにおいて、第40回中国地区老人福祉施設研修大会が開催され、デイサービス部門島根県代表として、「わが郷（トコ）この島で暮らし続けるために」～あなたの笑顔に会いたくて～とのテーマで発表しました。

日頃がむしゃらに現場で働いている私達ですが、発表原稿をまとめるにあたり、島という環境であろうと、どこであろうと人はみな住み慣れた所で安心して暮らし続けたい思いがあり、その人の安心できる生活を支えるために何が出来るのかということを再確認することができました。

他県の施設の発表や助言者からの言葉を聞き、離島、山間部、都市部などどこの地域でも同じような悩みを持ちながらもその土地土地での工夫でまた違ったサービスが展開されていることを知ることができました。町民の皆様によりよいサービスが届くようにこれからも頑張り続けなければならないとの思いが強くなりました。

海士町社会福祉協議会
通所介護部門
村尾、横山

ご存じですか！ 検察審査会



交通事故、詐欺、脅しなどの被害に遭い、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を訴訟してくれない。

このような不満をお持ちの方のために検察審査会があります。お気軽にご相談下さい。相談及び申立についての費用は一切無料で、秘密は堅くまもられます。

検察審査会では、選挙権を有する一般国民の中から「くじ」で選ばれた11人の審査員が検察官が事件の訴訟を起訴しなかったことの良し悪しを審査します。

お問い合わせは、松江地方裁判所西郷支部内（隠岐の島町港町指向5―1）

西郷検察審査会事務局

（ＴＥＬ０８５１２②００５）まで

財政状況の公表

平成20年度　　一般会計予算　34.6％を執行

海士町では、毎年6月と11月の2回、町民のみなさんに町政に対する理解を深めていただくため、財政状況を公表しています。今回は平成20年度上半期(4月1日～9月30日)の一般会計についてのお知らせします。

1. 予算の執行状況

【歳　入】　(単位:千円)

項　別	予算現額 (A)	収入済額 4月～9月 (B)	収入率 (%) B/A
町税	196,092	106,958	54.5
地方譲与税	25,210	7,305	29.0
利子割交付金	1,072	491	45.8
配当割交付金	661	125	18.9
株式等譲渡所得割交付金	1	0	0.0
地方消費税交付金	21,156	13,303	62.9
自動車取得税交付金	6,845	2,166	31.6
地方特例交付金	1,301	1,491	114.6
地方交付税	2,174,029	1,434,187	66.0
交通安全対策特別交付金	1	0	0.0
分担金及び負担金	43,596	11,372	26.1
使用料及び手数料	61,973	23,429	37.8
国庫支出金	632,411	22,974	3.6
県支出金	312,155	56,788	18.2
財産収入	11,268	4,756	42.2
寄付金	3,002	3,023	100.7
繰入金	0	0	0.0
繰越金	17,291	17,292	100.0
諸収入	59,131	7,434	12.6
町債	851,591	18,300	2.1
歳　入　合　計	4,418,786	1,731,394	39.2

【歳　出】　(単位:千円)

項　別	予算現額 (A)	支出済額 4月～9月 (B)	執行率 (%) B/A
議会費	31,696	15,948	50.3
総務費	669,110	192,195	28.7
民生費	413,356	194,997	47.2
衛生費	359,958	201,589	56.0
労働費	45	5	11.1
農林水産業費	790,904	106,363	13.4
商工費	131,909	35,582	27.0
土木費	383,089	98,206	25.6
消防費	94,990	53,820	56.7
教育費	302,491	113,421	37.5
災害復旧費	57,574	7,059	12.3
公債費	1,082,147	507,254	46.9
諸支出金	91,517	659	0.7
予備費	10,000	0	0.0
歳　出　合　計	4,418,786	1,527,098	34.6

予算現額とは、当初予算に5月、6月、9月補正予算と19年度からの繰越予算を合算した額です。

事業の財源である歳入の国庫支出金と町債の収入率が極端に低くなっているのは、事業の実績により年度後半に収納されるためです。また、歳出も事業の完了後に支出されることから、毎年、下半期に集中する傾向にあります。

2. 住民の負担の概況(税金)

(単位:円)

税　金	予　算　額	4月～9月収入額	平均負担額
町民税(個人)	80,355,000	33,854,558	14,106
町民税(法人)	9,031,000	6,520,800	159,044
固定資産税	83,956,000	52,717,110	21,965
軽自動車税	6,356,000	6,332,800	2,639
たばこ税	15,394,000	7,532,660	3,139
入湯税	1,000,000	0	0

※　平均負担額:海士町住民登録人口 2,400 人による平均値です。また、町民税(法人)については、41事業所による平均値です。(いずれも平成20年9月30日現在)

軽自動車台数(参考)

原動機付自転車	409台
自動二輪車	6台
軽自動車	1113台
農耕作業用自動車	112台
小型特殊車	36台
二輪の小型自動車	2台
合　計	1678台

※この4月1日現在の台数に軽自動車税が賦課されます。

3. 財産及び地方債の現在高

【財　産】

○土地及び建物　(単位:㎡)

区　分	面　積
土　地	1,426,015
建　物	89,344

○有価証券　(単位:円)

名　称	金　額
株券(隠岐汽船)	16,425,000
株券(山陰中央新報社)	150,000

【地方債の現在高】

○地方債　(単位:円)

借　入　先	現　在　高
政府資金	6,870,657,868
公営企業金融公庫	219,761,236
銀行	140,267,000
その他の金融機関	543,481,363
その他(島根県)	269,295,698
合　計	8,043,463,165

○基金の状況　(単位:円)

名　称	積　立　金
財政調整基金	20,728,005
減債基金	398,190,290
ふるさと創生基金	23,824,467
町史編纂基金	3,914,713
土地開発基金	62,506,059
人材育成基金	54,034,128
福祉基金	126,299,923
水と土保全基金	6,315,677
中山間地域活性化推進基金	29,390,377
観光施設整備基金	1,269,000
合　計	726,472,639

町では、最小の経費で最大の効果を上げるよう創意工夫し、効率的、計画的に予算を執行しています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

議会だより

9月定例議会 9月24日～25日

原案どおり可決

平成20年度補正予算関係7件・専決1件・条例改正5件・諮問1件・報告1件・陳情2件・発議2件
（一般質問4名）

▼水産庁補助金　600万円

【歳　出】

▼減債基金（財政健全化分）
積立　7、621万8千円

▼町道新開2号線改良工事費等まちづくり交付金事業
3、810万円

▼離島漁業新規就業者育成支援事業費等
2、117万2千円

▼日ノ津・崎線バイパス整備事業等土木関係費
1、664万4千円

補正予算の主な内容

一般会計予算

■歳入歳出それぞれ1億4、900万5千円を増額し、予算総額42億2、435万8千円とした。

【歳　入】

▼地方交付税
4、688万7千円

▼町債（借金）
9、059万1千円

主な条例改正

▼海士町の職員給与に関する条例改正
12月に支給される期末勤勉手当について、算定基礎となる給料月額を減額前の額（カット前）に戻すための改正

▼海士町乳幼児医療助成に関する条例改正
島根県肝炎治療医療費助成事業の実施に伴う改正

▼特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例改正
道路運送法の改正に基づき地域における生活交通対策の推進を図るため「海士町地域公共交通会議」を設置したことにより、委員の費用弁償を支給するための改正

諮　問

▼人権擁護委員の任期満了に伴うもので、東区細川謙二さんの推薦に同意しました。

陳　情

▼島根県社会保障推進協議会会長池渕栄助氏からの、「国の社会保障費削減方針撤廃」の意見書採択を求める陳情は、採択しました。

▼社団法人島根県建築組合連合会会長桑田忠義氏及び隠岐島前建築組合組合長和泉高徳氏からの、「公契約条例制定」に向けた陳情は、採択しました。

発　議

▼現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は、平成22年3月末をもって、失効することになる。このため、海士町議会としては、過疎地域が果たしている多面的、公共的機能を今後とも維持していくため、引き続き過疎地域の振興を図り、そこに暮らす人々の生活を支えていくことが重要であることに鑑み、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させるため、「新たな過疎対策法の制定」に関する意見書を内閣総理大臣ほか、関係各省大臣あてに提出することを可決しました。

決算認定

決算認定に係わる7議案については、総務厚生、産業建設各常任委員会に付託され、議会閉会中の継続審議としました。

平成19年度海士町会計決算監査委員が指摘

決算審査で、渡辺浩吉氏（識見者選出）と花岡美近氏（議会選出）は、審査結果を議会に報告しました。

監査委員からの所感を紹介します。

・各会計正確に処理

予算執行については、一般会計、特別会計において、限られた財源の中で、経費の節減に努め、財政の健全化に向けた取り組みが伺えました。

しかし、今後とも厳しい財政状況は予想されます。また、重要な財政指標についても好転の兆しが見出せない状況にあります。内なる改革をさらに進め、事務事業についてもしっかりした計画のもと、優先順位を定めた執行、つまり「選択と集中」で効率を高めることが求められることを感じました。

・税、使用料等の徴収に全力を

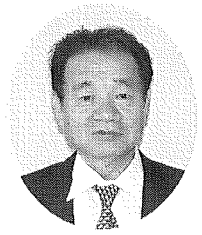
町税等の滞納については、賦課徴収の公平性確保の観点から、適切な徴収に努めていますが、滞納総額は1、100万円（町税・国保税・水道料・住宅使用料等）を超える額で前年度から96万円余増えています。さらなる徴収業務に努力すべきであります。

報　告

「地方公共団体の財政健全化に関する法律」に基づき、平成19年度海士町財政健全化における判断比率及び公営企業の資金不足比率について、監査委員の意見を付して議会に報告されたものですが、いずれの指標についても早期健全化基準をクリアされておりました。

町政に問う

一般質問



波多紀昭　議員

自然環境と共存できるまちづくり条例を制定せよ

問　波多議員

本町には、開発に対する基準がないことから無秩序に開発され、自然環境が破壊されるケースや開発に対する施主と住民とのトラブルが発生した事例もある。

そこで、他の自治体でも導入しているように、乱開発・環境破壊に歯止めをかけるべき一定規模以上の土地の開発については、施主は事前に町長や近隣関係者に通知し、開発内容を説明して十分な理解を得ることなどを義務づけた開発行為の基準と保全活動をコントロールした条例制定の必要性を問う。

答　町長

議員指摘のように、開発行為すべてに「マッタ」をかけるのではなく、町の均衡ある発展を推進するため行政が事業活動を誘導し、場合によっては抑制して町の成長を管理する必要性についても同感である。

上位法との整合や財産権を保証した憲法規定との整合性をも考慮して、今後も本町の特性や特色を生かしたまちづくりを進めたい。

開発の対応については検討課題にしたい。放っておく問題ではないと認識している。

海士町史の現代編（戦後史）の出版はいつか

問　波多議員

町長は、本書については、19年度中に発行したい旨、過去の議会で答弁をなさっているが未だ日の目を見ない。編纂作業に着手来10年、しかも来年度は町制施行40周年の節目、好機逸すべからず、と思うが。

答　町長

早期発刊のための努力には変わりがない。故田中公さんからは、18年7月に最終原稿が届けられたものの、その後著者不在のため、デジタル化したあとの構成や目次立ての作業を困難にしている。そこで、整理検証の発行方針を変更し、今秋から、項目別に（例えば戦後の世相・戦後の農地改革・民俗行事等）本町のホームページや各地区に簡易印刷したものを配布するなどシリーズもので公開し、固有名詞の間違いや事実誤認などの指摘を受けながら、21年度中の発行を目処に校正作業を鋭意進めているところだ。

松田修一　議員

新型インフルエンザ対策は万全か？

問　松田議員

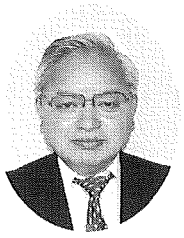
平成9年に香港で鳥インフルエンザの人への感染が報告され、新型のＨ５Ｎ１型の人から人へ感染する新型が出現、発生すると広範囲に急激に大流行する可能性がある。その発生はもはや時間の問題とされ、日本に上陸したときの現実的な対応策を準備する必要性がある。大流行により64万人が死亡するといわれる。この新型が出現して人間界に入ると、ライフラインが途絶えることも考えられる。社会機能を維持する国・県レベルでは発生時、行動計画が策定されている。そこで、町民の行動計画として、物流の停滞をにらんで家庭での食料・水の備蓄など具体的な行動計画が必要となる。新型インフルエンザ発生時における町独自の行動計画の策定の有無・今後の取組みについて伺う。

答　町長

町としての取り組みは、県からの情報により対応することになっており、現在のところ、9月10日に隠岐保健所主催の対策検討会が開催され、保健所・町村・警察・消防・病院・ＪＡの担当者が一堂に会し、島根県が想定したシュミレーションを共有したのが最初で、隠岐では患者が5、９００人、病院等への外来3、０００人、入院1、０００人、死亡30人を想定しており、その数字からみても混乱は避けられないと考えられ、対策としても町が単独で行えないと考えている。

島根県単位あるいは、隠岐単位・島前単位とそれぞれの機関と歩調をあわせて取り組みたいと考えている。

新型インフルエンザに関する啓発が先ず大事ではないかと思っており、今後、隠岐保健所或は町村と連名で啓発用チラシも検討していきたいと思う。いずれにしても目に見えないものであり、実感がわきにくいが対応については県や関係機関と十分に連携をとっていくしかないと思っている。


花岡美近　議員

職員の勤務評価制度導入と人事の関係について

問　花岡議員

「海士町自立促進プラン」が平成16年3月31日に策定され、職員の勤務評価制度を同年度計画実施となっているが、未だ実施されていない。

評価制度を導入しないままポストの増産で複数の課長代理が配置されているがその理由を伺いたい。なお「行財政改革」で大幅な給与カットをしているため計画期間内は導入を見送るとなっているが勤務評価と給与カットは関係ないと思うが導入されていない理由は何か。

答　町長

民間企業と違って公務員の勤務評価は困難性がある。小規模自治体では複雑な調書作成をするより、日常接した中で自分の目と管理職の目を併せて実施する評価に間違いはない。係長以上の昇進については、課長の推薦制度を実施している。課長代理の複数配置は権限委譲等で業務量が増大したための対応である。評価制度の導入は、人材育成の観点から町に合ったシステムづくりを何れ導入することになると考えている。

職員の定数と職員数について

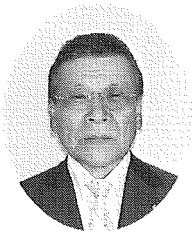
問　花岡議員

海士町の自立促進プランや行財政改革により大幅な職員定数と職員数の削減を進めてきたが定数は平成20年度77名、職員数については平成22年4月までに69名にした。

現在67名の職員数で現在2名を募集中であるが、この中に障害者が対象になっているか。又、職員定数と職員数に8名のギャップがあるが定数条例の改正について伺う。

答　町長

2名の職員募集は今後の町の職員構成、年齢構成等を考えての補充であり、障害者については制約なしに募集している。職員定数条例の改正は、しないといけないと思っている。


中村等光　議員

福利厚生事業の公表は

問　中村議員

自治体の互助会の職員向けの福利厚生事業について、総務省が2005年3月に示した行政改革指針で、点検見直しを行うよう指示し、同時に実施状況を公表するよう求められた。隠岐では、海士町と知夫村が公表していない。島根県の調査では4市8町村が未公表のこと。なぜ海士町は公表しないのか伺う。

答　町長

職員互助会は、海士町では親和会といっている。平成19年度の決算額で収入が73万1千円に対して、町の補助は5万円のみで職員の会費負担によるもので、使途については、職員とか家族の慶弔費とか退職祝金などである。こうした状況から、当然改善の指示などなく、見直しもしていない。

公表についても、国の指示に従い、都道府県分については総務省が、市町村分については島根県において公表されている。

備蓄タンクの建設は

問　中村議員

国土交通省が離島のガソリンや軽油の価格を引き下げるため、自治体が備蓄タンクを建設する場合、補助金を出すと報道された。

この備蓄タンクを建設することによって1リットル10円以上安くなると試算されている。このタンクの建設について伺う。

答　町長

初年度は数ヶ所の予定のようだが、離島振興法などに基づく補助で、対象は21都道府県で313島ということになっている。計画では、港湾施設の管理者である都道府県や市町村が離島岸壁に1千キロから2千キロの備蓄可能なタンクを建設して、離島振興法などに基づき費用の60％から95％を補助するもの。原油高対策では、経済産業省も来年度から、地方自治体、或いは、ガソリンスタンド経営者らによる共同タンクの設置や共同配送用のタンクローリー購入など、流通効率化への補助事業を始める予定と聞いている。

今は、国土交通省が示したタンクに海士町がむかえるのか、海士町独自では難しいのではないかこれからの問題だと思っている。

問　中村議員

管理費用等も相当かかるわけですが、可能性に向けて研究していただきたい。

答　町長

調査研究はしていく必要はあると思っている。

将来見通しをつけ需要がどれだけ伸びるか、伸率等々を積算した中で判断していかざるを得ないと思っている。

決してやらないのではなく調査費等を付けて取り組んでいかなければならないと思っている。

議員研修報告

ビニールハウスに覆われたしいたけ栽培の育成試験場

9月30日、10月1日の2日間、全員参加の議員研修を行った。30日は、飯南町にある島根県中山間地域研究センターの視察で、最初に施設の概要説明を受けた。平成15年オープン、職員は総勢110名敷地面積36ヘクタールに地域研究部門と農林技術部門があり全国で唯一の施設とのこと。

今岡企画情報部長から中山間地域の現状と課題について講義を受け、その後、敷地内のイノシシの放飼場、木材加工実験、しいたけ等人工ほだ場、竹資材の活用（竹パウダーの製造）、牛舎、くにびき松の育成試験等を見学した。その後、近くに建設中の志津見ダムの工事現場に立ち寄り、更に志都の里クラインガルデンを案内された。クラインガルデンは、滞在型市民農園で、大自然の中で農園を営みのどかで楽しい田舎暮らしをすることが出来る施設で、宿泊施設が20棟あり年間約40万円で貸し出され、広島県、他県内外の方が利用している。10月1日は、松江市の市町村振興センターで研修が行われた。

午前は、地域開発所研究員の牧瀬稔氏が「議員が提案する政策条例のポイント」についての講演。議会の役割の一つに政策立案機能があるが、議員提案条例はいたって低調である。政策条例を提案するにあたっては、十分に政策研究をした上で提案しなければならないと話された。午後は、政治経済評論家の板垣英憲氏が「マスコミに出ない政治経済の裏話」と題して中央政界や日本経済に関わる裏話の数々を披瀝された。年に一度の議員研修ですが視察や講演で見聞を広め知識を得てそれを何かでも議会活動に反映させるべく努力しなければと感じました。（報告者　上田正子）

隠岐広域連合議会報告

波多　紀昭

第3回定例会を9月11日に開催した。

①行政報告

隠岐病院の泌尿器科医師が9月末で退職するため、外来診療は内科と外科に患者を振り分け、月2回島根大学からの診療支援により対応。透析医療は7月から現在の勤務医3人が当番制に移行し、問題なく進んでいること。

また、医師の激務に対する勤務評価の仕組みがないことから、医師の人事考課制度を年度内の導入を目処に検討。

山陰タンク油槽所での混合事故について、消防法に基づく立ち入り検査と厳格な処置指導を実施した。また、火災発生件数は前年同期と比較し9件と半減したものの、3名の犠牲者を出したとの報告があった。

②一般質問

島前地域の透析治療について質問があり、島前地域の患者数は4名であり、島前病院での透析治療は機能面や人的面で対応できない状況だが、大切な課題と認識していること。また、小規模多機能型居宅介護事業への交付金の質問では、補助金を交付する町村が事業の説明紹介をすべきだが、保険者として町村との連携を深め対応したいとの答弁であった。

③議案審議

平成19年度隠岐広域連合一般会計ほか特別会計決算の承認案件が9件、報告案件が1件、条例改正案が2件、専決処分案が1件の計13案件であった。19年度決算は決算審査特別委員会に付託した。

条例改正案は、議員報酬を特定化する改正案と、構成団体負担金の4半期負担期日を連合長が定めるよう改正。

専決処分案は、隠岐病院の精神科医師の派遣延長に伴う、派遣元の経費増加補填と、開業医の損失補填費1、130万円の増額補正。また、平成19年度の公営企業資金不足比率の報告がなされ隠岐病院、島前病院ともに資金不足はないことが報告された。全議案とも原案通り可決した。

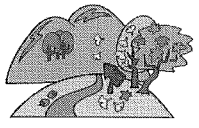
【編集後記】

9月に発生したサブプライムローン問題に端を発した金融危機により世界的な株価の下落と、株式市場の乱高下他山の石と高みの見物と行かず日本の実体経済にも深刻な影響が予測され、不安で不透明な年末を迎える予感が？

国政においては、衆議院の解散も取りざたされ、この号が皆様のお手元に届く頃には、11月末の総選挙か、来年1月かはたまた4月なのか明確な道筋が示されていることでしょう。

原油価格の高騰も一段落、値上がりの速度と同じ速度で値下がりを願うのは一人筆者だけでは？

（文責　松田修一）



教育だより

海士中学校学園祭

change ～今、未来を変えるトキ～

9月14日(日)「change～今、未来を変えるトキ～」をスローガンに学園祭が開催されました。午前に2年生の海士町PR発表や弁論、音楽の発表等、午後に演劇が行われました。全校生徒縦割り活動で取り組んだ演劇では、どのグループも生き生きと演じており、今までの練習の成果をしっかりと出し切ることができました。

学園祭を終えてそれぞれの代表者からコメントをいただきましたのでご紹介します。

◆生徒会長　大脇政人

今年の学園祭は、全校生徒の心が一つになり、最高の学園祭となりました。演劇活動では、テーマの「環境」をどのように観客に伝えればよいのか、アイディアを出し合いながら劇を作り上げていくことができました。これからも「環境」へ配慮する気持ちを忘れず、「エコ」の意識を海士町や様々な人々に発信していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

◆A組リーダー　藤田将貴

今回の演劇でA組のリーダーになり、始めは僕がみんなをまとめていけるか、不安でいっぱいでした。最初は全然グループにまとまりがありませんでしたが、A組の3年生のおかげで立て直すことができました。本番当日、演劇が始まったときは緊張しすぎて頭が真っ白になりましたが、終わったときにはほっとしたのと、やりきったうれしさで涙がこみ上げてきました。

◆B組リーダー　宮下凱希

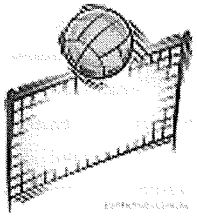
僕はこの学園祭を通して、人の考えや意見を尊重し、考えて行動できるようになりました。リーダーとしてグループをまとめていくのは、僕にとっては大変でしたが、副リーダーや他の3年生、先生方に助けられながら、僕は変わることができました。これからは、この経験を生かし、今度リーダーとなる2年生などのサポートができればいいと思います。

◆C組リーダー　柏原　光

夏休み中は人数がそろわず、なかなか進まないまま2学期に突入してしまいました。しかし、2学期に入ってからグループ内の士気が高まり、みんながんばりました。本番の演技はとても楽しく、裏方とも一体となって演じることができました。

隠岐郡中学新人大会を終えて

隠岐郡中学校新人大会が10月9・10日の2日間にわたり開催され、海士中学校からは、バレー部とソフトテニス部が出場しました。3年生が引退し、2年生中心の新チームとなって初めてとなるこの大会を目指し、各部がひたむきに練習に取り組んできました。結果とともに各部主将の感想を紹介します。



◆男子バレー部

僕達男子バレー部は新人戦で一勝することはできませんでしたが、他のチームと比べて、大きな力の差はないと感じました。でも、気合いと声で負けていたと思います。男子バレー部は体力がなく、すぐ腰が立ったり、声が出なかったりしました。これから冬の練習では走り込んで体力をつけ、みんなで声を出して、内容の濃い練習をして、良い癖をつけたいと思います。

主将　藤田　朋之

◆女子バレー部

今回は新チームとなり、初めての大会でした。試合中はお互いに声をかけ合い最後までいい試合ができたと思います。

しかし、まだできていたのではないかという場面がありました。これからの練習は次の大会でそんなことを思わないようにしたいです。そのためには部活だけ頑張るのではなく、毎日の生活から積極的に取り組むなどして頑張っていきたいと思います。

主将　増谷　実香

◆男子テニス部

男子テニス部は新人戦を通して二つの課題が見つかりました。ひとつは試合の中盤から終盤にかけての集中力です。もうひとつは前衛と後衛で相手を攻めるという事です。また、課題ばかりでなく、試合中はペアで声を出し、自分たちの力を十分に出していたと思います。これからは課題を克服し、より強い男子テニス部を目指します。

主将　熊本　大樹

◆女子テニス部

私達女子ソフトテニス部は新人戦に向けて声を出して頑張ってきました。新人戦ではそれぞれが、自分の力を出しきりプレイできたと思います。しかし、まだまだ上を目指せると思うので、これからの練習では、ペアとの声かけやボールに対する粘り強さを大切にしていきたいです。また、一日一日の練習を無駄にせず取り組んでいきたいと思います。

主将　吉元　麻湖

隠岐郡中学新人大会結果

H20.10.9～10

▼男子バレー部
　第3位　　0勝2敗
▼女子バレー部
　第3位　　2勝2敗
▼男子ソフトテニス部
【団体戦】
　優勝
【個人戦】
　熊本・池田ペア　ベスト8
　青山・渡邊ペア　ベスト8
　藤田・渡辺ペア　ベスト8
▼女子ソフトテニス部
【団体戦】
　予選リーグ敗退
【個人戦】
　吉元・江川ペア　ベスト4
　子隅・中村ペア　ベスト8

第58回島前陸上選手権大会

9月23日、海士中学校グラウンドで、第58回島前陸上選手権大会が行われました。

この日のために、夏休み中から練習して来た子どもたちは、それぞれが自分の記録を破ろうと懸命に競技に臨んでいる様子が見られました。

4つの大会新記録、3つの大会タイ記録を出すなど、海士の子ども達は大健闘しましたが、中でも福井小5年沼田啓佑君は、昨年に引き続き100m、千mで大会新記録を出す大活躍でした。午後からは豪雨により中止となってしまい、中学年女子の400mR、一般の100m決勝、400mRは行うことが出来ませんでした。来年度は西ノ島町で開催される予定です。

第58回島前陸上競技選手権大会結果一覧

種目			順位	氏名	地区	記録
小学校男子	3年生	100m	1位	戸鳴　巧貴	保々見	17″ 0
			2位	波多　瑞月	東	17″ 2
	中学年	400mR	2位	福井小A（戸鳴巧・真野・中村・高橋）		1′ 10″ 5
	5年生	100m	1位	沼田　啓佑	中里	14″ 5（大会新）
		1000m	1位	沼田　啓佑	中里	3′ 25″ 0（大会新）
		走幅跳	2位	沼田　啓佑	中里	3m86
			3位	山崎　竜星	菱浦	3m62
	6年生	100m	2位	青木　海渡	豊田	14″ 6
				松前　丈	御波	
		1000m	3位	佐伯　良太	東	3′ 24″ 8
		走幅跳	1位	松前　丈	御波	4m04
			2位	青木　海渡	豊田	4m00
	高学年	400mR	1位	福井小A（沼田・梅野・佐伯・松前）		57″ 8
			3位	海士小A（千田・宇野・青木・中川）		1′ 00″ 0
	全学年	走高跳	2位	佐伯　良太	東	1m19
			3位	宇野　翼	北分	1m16
一般	男子	1500m	2位	増本　昌雄	中里	5′ 26″ 0
			3位	佐渡　遼	中3・菱浦	5′ 46″ 8
		走幅跳	1位	柏原　光	中3・宇受賀	5m07
		走高跳	1位	柏原　光	中3・宇受賀	1m50

種目			順位	氏名	地区	記録
小学校女子	3年生	100m	1位	沼田紗也加	中里	17″ 3
			2位	万代　涼	中里	17″ 5
			3位	門脇　瑞穂	宇受賀	18″ 1
	4年生	100m	1位	磯谷　結加	中里	16″ 0（大会タイ）
			2位	佐藤　光瑠	東	16″ 2
			3位	中川　美希	東	16″ 4
			予選	佐藤　光瑠	東	15″ 8（大会新）
		600m	1位	佐伯　京香	東	2′ 10″ 0（大会新）
			2位	中川　美希	東	2′ 10″ 8（大会新）
			3位	佐藤　光瑠	東	2′ 12″ 4
	5年生	800m	1位	藤田　真帆	宇受賀	3′ 04″ 3
			2位	佐々木梓沙	福井	3′ 07″ 1
		走幅跳	2位	佐々木梓沙	福井	3m43
			3位	柏原　礼奈	宇受賀	3m35
	6年生	100m	1位	戸鳴　亜美	保々見	14″ 9
		走幅跳	2位	戸鳴　亜美	保々見	4m15（大会タイ）
			3位	高橋　芽生	宇受賀	3m69
	高学年	400mR	1位	福井小（佐々木・戸鳴・磯谷・岡村）		1′ 03″ 3
一般	女子	走幅跳	1位	吉元　麻湖	中2・菱浦	4m28
			2位	佐々　美咲	中3・東	3m66
			3位	沼田　菜那	中2・中里	3m46

第22回ちびっこ相撲大会 10月14日隠岐神社相撲

今年も隠岐神社秋の例大祭に合わせ、「ちびっ子相撲大会」が奉納されました。毎年海士町子ども会連絡協議会の主催で、町内11地区の小学生が一同に集まって、男女に分かれて学年ごとに対戦しました。

この日のために、子ども達は放課後各地区で集まって、夜遅くまで練習を積みました。土俵では豆力士達の元気なぶつかり合いや、観客も思わず力の入る名勝負が次々と繰り広げられ、境内の常設相撲場には、平日にもかかわらず大勢つめかけた保護者や観光客の声援が、秋空の下賑やかに響いていました。

第22回ちびっこ相撲大会成績一覧表

海士町子ども会連絡協議会
H20.10.14　隠岐神社相撲場
（所属子ども会名）

種目		1位	2位	3位
1年	女子	竹中しのぶ（宇受賀）	福井　美波（福井）	木綿由妃菜（宇受賀）
				柏谷　心愛（西）
				井手上暖乃（福井）
	男子	若本航一郎（菱浦）	万代　丈（中里）	渡邊　天陽（崎）
				高橋　拓也（菱浦）
				涌井　航太（北分）
2年	女子	本多かすみ（菱浦）	片桐　愛南（福井）	田中みさと（東）
	男子	澤谷　蓋（東）	磯谷龍太郎（中里）	中村　勇士（中里）
3年	女子	万代　涼（中里）	澤井　詠華（中里）	渡邊あさひ（崎）
				沼田紗也加（中里）
				門脇　瑞穂（宇受賀）
	男子	戸鳴　遥樹（保々見）	戸鳴　巧貴（保々見）	真野　拓哉（福井）
				村上　大輝（西）
				波多　瑞月（東）
4年	女子	磯谷　結加（中里）	中川　美希（東）	浜板日陽里（菱浦）
	男子	高橋　利旗（菱浦）	波多　海人（東）	中村　航太（中里）
5年	女子	藤田　真帆（宇受賀）	柏原　礼奈（宇受賀）	佐々木梓沙（福井）
	男子	亀原　光正（中里）	沼田　啓佑（中里）	竹中槙之介（宇受賀）
6年	女子	磯谷　千華（中里）	高橋　奈生（宇受賀）	山戸　莉緒（豊田）
	男子	宇野　翼（北分）	井筒　翔太（御波）	松前　丈（御波）
敢闘賞	女子	沼田紗也加（中里）	高橋　佑季（菱浦）	
敢闘賞	男子	佐伯　良太（中里）	中川　拓海（東）	

ふるさと講座シリーズ⑦

カーカとオーカギの語源

二つとも樹木の名前で海士の方言です。木樵（きこり）をしなくなったので（プロパンガスの普及）、山にも用がなくなりました。木の名前なんか、もうどうでもいいことかも知れません。ただ、カーカは道端や田畑の周りにいくらでもあり、綺麗な花も咲くので知らない人はいないと思います。オーカギを知っているのはもう年寄りだけでしょうか。

カーカ・カーカノキ

和名はネムノキ〔合歓木〕です。なお、日本語での正式名のことは「和名（わめい）」というのが正しく、学名はラテン語でAlbizia julibrissinとなります。ネムは「眠り」から来たもので、夕方になると葉が閉じて垂れ下がり、眠ったように見えます（就眠運動）。筆者も小さい頃畑の帰り道で、親戚の小父さんにそのことを教わりました。

方言のカーカは漢名のゴウカン（合歓）が訛ったもので、隠岐・出雲・鳥取県（全域）が共通の発音です。その他、ゴウカンボク・コーカンボ・コーカ・コーカギ・コーコ・コカなど、全国に色々の変化形があります。もちろん別系統の方言もありますが、圧倒的に多いのはネムノキ系とゴウカン系です。

漢名「合歓（皆でともに喜ぶ）」も「葉が合わさる」ことと関係があるようです。別名の「合昏・夜合樹」になるとその意味が更にはっきりします。「合歓」のもう一つの意味「男女の愛」は関係ないでしょう。

材は柔らかくてもろく、薪にしても燃えにくく、役に立たない木として軽く見られて来ました。ただ、葉っぱは牛が非常に喜んで食べますし、材を鋤（すき）の床（とこ）に使うと聞いたこともあります。現在では、庭木や街路樹としての利用で知られています。

オーカギ

浅い山の道端などに普通にある木です。和名は**ウリハダカエデ**〔瓜膚楓〕で、モミジ（紅葉）の仲間です。葉が巨大で切れ込みも浅いのでそんな風には見えませんが、秋になると黄色～真っ赤に紅葉して見事です。

若木の樹皮が鮮やかな「あお」になるのが著しい特徴で、黒い縦縞が入るので「瓜の肌」のようにも見えます。「あおい」という語には、青色と緑色の二つの意味がありますが、緑色の方です。ウリハダカエデはそのものずばりで、方言もウリノキ（瓜木）系が広く見られます。

一方、アオカワ（青皮の木）系では、アオカワ・アオッカ・オッカワ・オッカ・オカ・オッカワヌキ、などの例があります。海士のオーカギは「オカ＋木」に違いありません。末尾に「木」がつくことは自然ですし、オカがオーカと長音化するのもありそうなことです。そういえば、垣（かき）⇓カーキ、沖（おき）⇓オーキ、茱萸（ぐみ）⇓グーミ、などの例もあります。石見地方の一部に「オーカギノキ」を発見した時に、「オカ＋木」を確信しました。

なお、海士や島後では「オーカギ」ですが、西ノ島では「ハシギ（箸木）」と言います。奇妙なことにアオカワとハシギの共存は他の地方にも例があります。以下は、樹木学者倉田悟博士の著書『カラー樹の花』（山と渓谷社）からの引用です。

『隠岐島では田植初期の田祭をタオレといい、特に島前（どうぜん）の村々では6月7日ごろ、部落中が共同して、山から持ってきたハシキという木の枝の葉ごとに五穀を包み、藁しべで結んでマキを作り、平年は12個、閏年は13個つけたものを、大字のほぼ中央にある田のまん中に立てる。・・・（中略）・・・隠岐ではオーカギと呼ばれるウリハダカエデで正月行事の箸を作る。・・・（中略）・・・どなたか、隠岐のハシキの正体をご存知ありませんか。』

田植えの時に泥饅頭を太い箸の上に乗せて畦に立てる風習が、筆者が子供の頃にはまだ残っていました。その箸が確かオーカギでした。山で弁当の箸を忘れ、父に言われてオーカギの枝を箸にした記憶もあります。確かに「箸にする木」という共通認識がありました。また、端午の節句（旧暦5月5日）の黍（きび）のマキは、必ずオーカギの葉で包んだものです。筆者はオーカギという言葉を、幼い時にこのマキの葉っぱで覚えました。

（文化財保護審議会
委員　丹後亜興）

～寄付のお礼～

10月25～26日に行われた海士町産業文化祭においては、刈田会はじめたくさんの皆様から寄付のご協力をいただきました。この寄付金については、隠岐開発総合センターの備品等の購入に充てさせて頂きたいと思います。

ご協力誠にありがとうございました。

海士町中央公民館

高校魅力化構想案

～アンケートの結果から～

島前高校、三町村の教育委員会、三町村の中学校、島前ＰＴＡ、ＯＢ・ＯＧ会の代表者による「島前高校魅力化ワーキンググループ」が、島内外から生徒が集まる高校づくりの案を作成しています。

これまで、島前三町村の中・高生とその保護者・教員へアンケートを行い、その結果をもとに、「子どもたち一人ひとりが夢を見つけ希望の進路を実現できる高校」「島前地域とともに歩む高校」を目指した構想案がまとまりました。

以下がその構想の一部です。これらはまだ検討中のものですので今後、皆さまからの意見や県との協議によって実現可能なものに絞り込まれます。

今後検討されます！ 一人一人の夢の実現を目指して　島前地域とともに歩む高校

教員数の増

教員数を増やすことで、少人数指導や習熟度別クラスなど、今より更にきめの細かい指導を行い、多様なニーズに応えられる体制をつくる。

２コースで夢の実現を

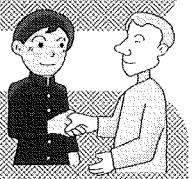
一人ひとりの進路希望を確実に実現させていくために、国公立大への進学に対応できる特別進学コースと、地域資源を活かし、専門学校や就職などの多様なニーズに対応できる地域創造コース（仮称）を創設する。

部活動の充実

遠征費の補助や、外部指導者の活用を進め、部活動の強化を図る。また、島ならではのマリンスポーツや文化系の活動もできるようにする。

学力向上と進路実現

地域の学習ボランティアや学習支援コーディネーターを活用し、手厚い学習支援を行う。また、キャリアカウンセラー（進路相談員）を配置し、一人一人に応じた専門的な進路指導を行う。



交流の促進

国内外から意欲の高い留学生を積極的に受け入れるなど交流を進めていく。また、海外や都市部への留学支援制度を作り、子ども達の可能性を広げられるようにする。

島内外へのＰＲの充実

ホームページなどのメディアの充実や、中高連携、体験入学などを行い、島前高の魅力や取り組みを島内外へ発信していく。

寮の活用

寮の運営を町に委託し、島前を訪れる大学教授やスポーツ選手などとの交流にも活用する。学習習慣や生活習慣をしっかり身に付けられる教育環境づくりを進め、島内の生徒も一定期間入寮できるようにする。

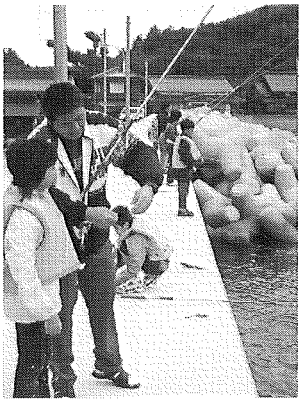
保護者の負担軽減

アンケートで多く見られた「弁当を作るのが大変」という声に答え、希望者には昼食の弁当ｻｰﾋﾞｽを行う。また、西ノ島・知夫から通う生徒の内航船を無料にするなど、保護者の負担を減らす。

＊（注）高校魅力化構想案（上記の項目）については、今後さらに県との協議によって実現可能なものに絞られます。

こどもダッシュ村

第5回「親子魚釣り大会＆イカの一夜干し作り」



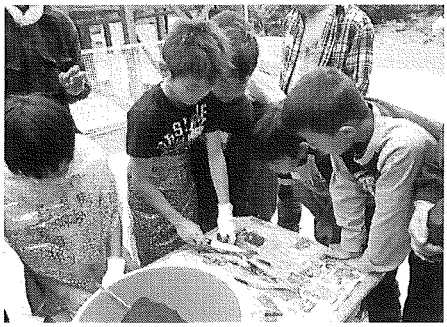
9月28日、早朝の豊田港に13組の親子が集まり親子魚釣り大会を行いました。

オキアミをエサに釣り糸を垂らすと、アジやアオリイカ、ベラなど次々と魚が釣れて子ども達は大喜び。エサの付け方をお父さんに教わる姿や「お母さん意外と上手だね！」と感心する子の声が聞こえてきたりと、親子のほほえましい姿があちこちで見られました。2時間ほど魚釣りを楽しんだ後は、自慢の一匹を計測して大物賞、長さ賞、種類賞などの各賞を決めました。賞状と賞品をもらって、子ども達は嬉しそうに見せ合っていました。

魚釣り大会の後は、豊田区「海の駅松島」の皆さんに、「イカの一夜干し作り」を教わりました。おっかなびっくり包丁を握った子ども達でしたが、2ハイ目のイカを捌く頃には「おもしろい！」と夢中になっていました。

開いたイカは海水で洗ってイカ干し機へ。ずらっと並んだイカが、スイッチを入れた途端一斉にぐるぐる回る様子に思わず歓声があがりました。

出来た一夜干しは、海の駅松島のみなさんが真空・冷凍加工して、名前入りで送ってくださいました。自分で作ったイカの一夜干しの味は格別だったようで、「食卓で話しながら賑やかに食べました」という参加した親子の感想が聞かれました。



「わっ！ヌルヌルするなぁ。」

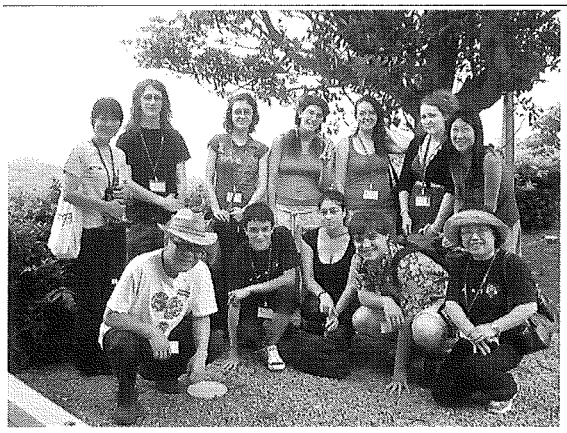
人間力推進PJ（プロジェクト）の取り組み

シリーズ②

新宿日本語学校から：

サマースクール参加者からの手紙

7月に行われた新宿日本語学校サマースクール参加者より海士町へ手紙が届いておりました。そして手紙といっしょに後鳥羽上皇に刺激され参加者が詠んだ俳句や短歌が同封されておりましたので一部ご紹介します。



手紙

★海士町に泊まった時はとても楽しかったです。この島はとても綺麗と思います。皆様のおかげでもう一度海士町へ行きたいです。ありがとうございます皆様。これは私の一番好きな休みです。また会いましょう。

（エリザベト・ルー）

★海士町はとてもきれいとたのしかったです。中学校はおもしろかった。りおこおはたのしかたですからだいすきでした。またらいねん。

（マキシム）

★海士町はうつくしいしまです。わたしのりょうしんが海士町すきになるとおもいます。りょうしんと海士町へもどりたい。みなさんのおかげで日本のぶんかをよくわかりました。みなさんはとてもやさしです。海士町がとてもしずかです。いろいろなおせわになりました。またあいましょう。

（マンダリン）

★あまちょうはきれいです。よかた。山と森と海だいすきです。それであまちょうはだいすきです。

（アントワーヌ）

★みんなさんおげんきですか。海士町はほんとうにきれいでした。スタフのもてなしはとてもいいでした。このりょうこうはほんとうにたのしかったです。みんなさんありがとうございます。

（フランソワ）

短歌

空を見る
すずしい風が　ふいている
雲が流れて　心が軽い

（クレモンティーヌ）

楽しそう
集まって鳴く　鳥の声
みんなの気持ち　表している

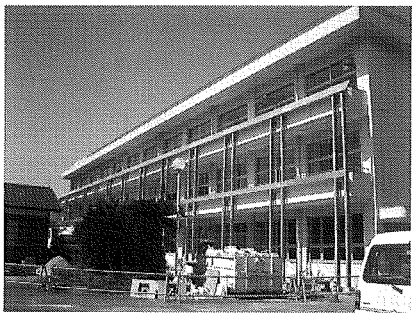
（サンドラ）

＊手紙はご本人が書かれたものをそのまま抜粋・掲載しております。

海士中学校が大きく変わっています！

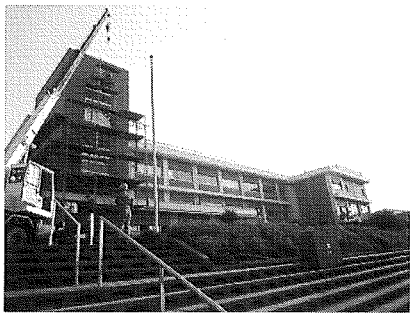
～古くなった校舎を、人と環境にやさしい校舎に改修中です～

■校舎の南側



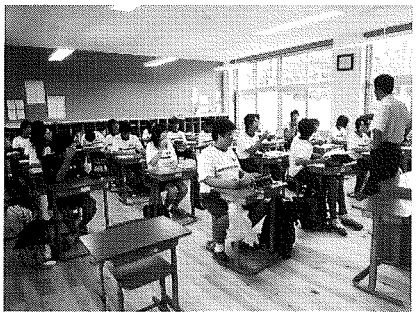
太陽光パネルをつけて太陽の光で電気をつくります。夏の暑さをしのぐため、色んな種類の植物を使って「緑のカーテン」をつくります。窓の上の方には、教室に入る光の量を調整する板(ルーバー)がついています。

■校舎の北側

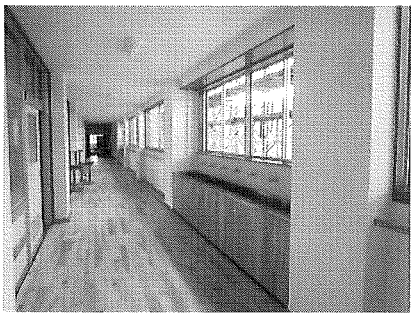


地元の杉板を全面に張りました。冬の寒さをやわらげる断熱材の役割をしています。木のぬくもりが広がるあたたかいイメージに変わりました。

■校舎の中は？



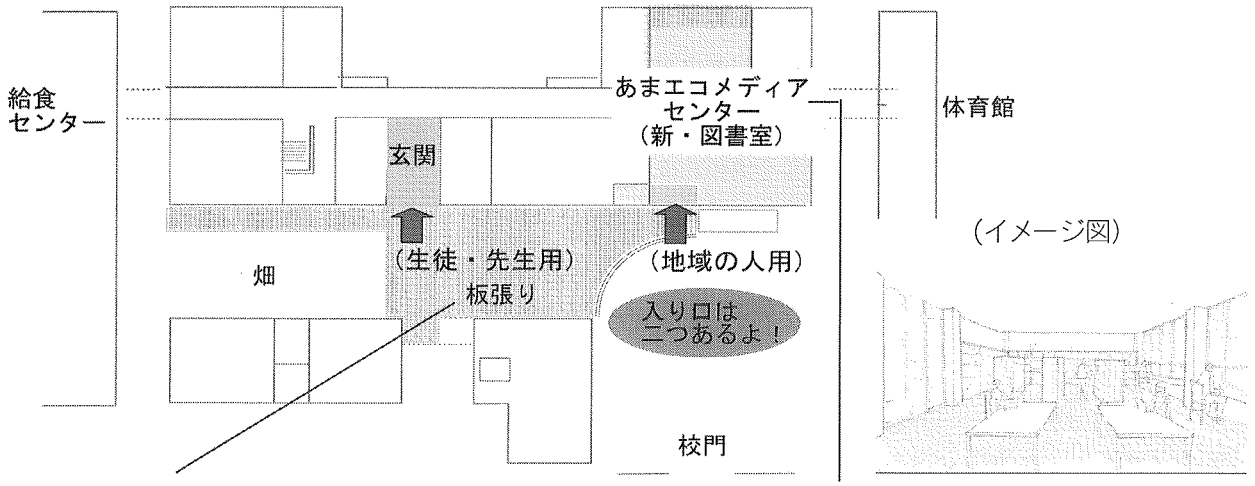
教室があたたかい雰囲気に！床は黒松の板張り。ガラスは冬の寒さをやわらげる断熱ガラス。照明は電気を多く使わない省エネ型です。



廊下いっぱいに木のぬくもりが広がっています。新しく手洗い場をつけました。

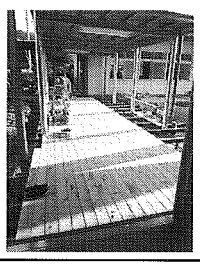
明るくて清潔感のあるトイレに！水を多く使わない節水型の便器に発光ダイオードという照明を使っています。あまりエネルギーを使いませんがとても明るいです。

■特に一階が大きく変わります！



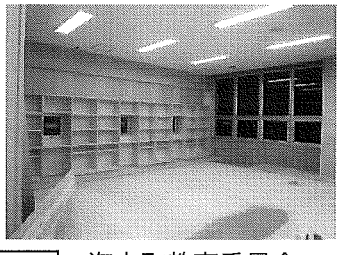
●中庭が板張りになります！

地元のあすなろと杉の木で中庭を板張りにします。木のぬくもりに包まれた学校の新しい入り口です。



●あまエコメディアセンター(仮)

図書室を一階に移動し地域の人が自由に入れるようにします。学習や話し合い、本を読むだけでなく、子どもから大人までゆっくりできる場所です。そして、ここから海士の自然や環境の情報を発信します。



中学校の中に地域の人が自由に入れて、ゆっくりできる場所ができます。
12月中旬にはほとんどの工事も終わりますので、ぜひ皆さん見に来てください。

海士町教育委員会
学校エコ改修事務局
井上さやか

隠岐島前高校だより

学園祭　テーマ「未知標（みちしるべ）」完全燃焼！

8月30日と31日、「未知標（みちしるべ）」をテーマに、学園祭を行いました。8月30日に文化祭、31日に体育祭・後夜祭を開催しました。

十分な準備期間を与えられたとは言えない中、生徒は休日返上で様々な出し物・デコレーションの準備を行い、学園祭当日には全ての出し物を大変素晴らしいものに仕上げました。また、バザーや模擬店、体育祭に多くの保護者・地域の方々が参加して下さり、この学園祭は「みんなで作った温かいイベント」になりました。

燃えた！！体育祭

子ども達に人気の「射撃」ゲーム　高校生とのふれあいを深めた一時でした。

激走した保護者の皆さん

大好評のバザー。 たくさんの地域の方々にも参加していただきました。

【生徒指導部より】

当日は多数の保護者・地域の皆様にご来場いただきまして、大盛況のうちに学園祭を終えることができました。限られた日数の中で、生徒会執行部を中心に、生徒一人ひとりが一丸となって準備に取り組み、素晴らしいものを作り上げることができました。準備活動を通して、生徒のみなさんのエネルギーに驚くのと同時に、互いに協力して一つのことを成し遂げることの素晴らしさを感じてくれたことを嬉しく思います。

体育祭も多数の皆様のご参加をいただきまして、無事、終えることができました。夜の火の集いの後、生徒の皆さんから「楽しかった」という声が多く聞かれました。

ご来場頂いた方々ならびにさまざまな形でご支援いただいた皆様に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

島前高校の魅力アップ作戦その3【魅力化WG事務局より】

島前高校の魅力化を図るための三町村連携の協議会「WG（ワーキンググループ）」は、これまで（10月15日現在）7回の協議を行いました。

6月30日に学校後援会で承認を受けた基本方針

「生徒一人ひとりのニーズに応える体制づくりを目指す」

①大学進学に対応できる体制作り

②大学進学以外の進路希望に対応できる体制作りに基づいて、7月以降は、もう一度生徒・保護者のアンケートを見直し、魅力化の取り組みとしてできそうなことを検討してきました。

まず、アンケートの要望・アイディアを付箋で分類しました。

さらに2グループに分かれ、グループごとに案を追加し、それを全体で協議して精選するという過程を経て魅力化構想案を策定しました。(P15 教育だより関連記事参照)

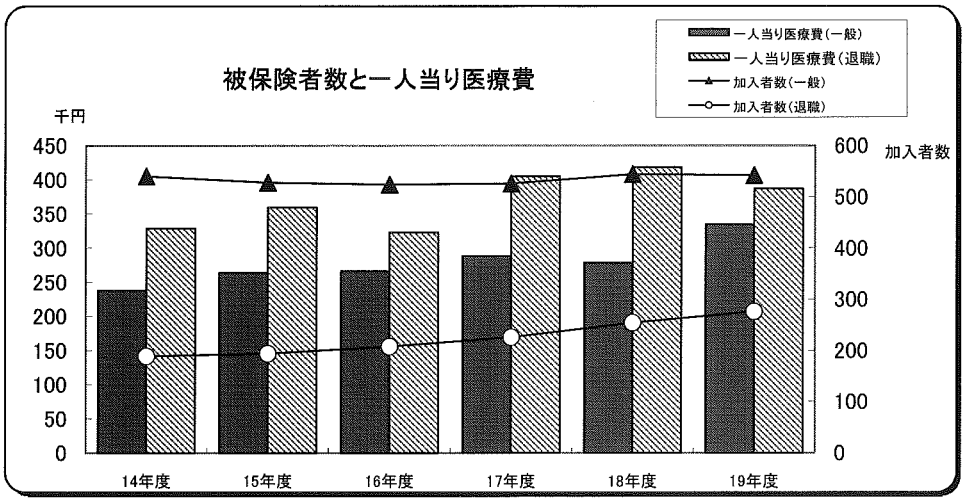
学校後援会で、この構想案は概ね承認されました。今後は、国や県、高校教員、地域などとの協議や意見交換などをしたり、予算措置が必要なものについては費用を試算したり、町村の総務・財政との相談を重ねたりした上で、実現可能かどうかWGで協議し、提案を精選していく予定です。

10月中には、三町村それぞれを会場に、この構想案について、保護者・地域の皆様との意見交換会を開催したいと考えています。島前高校を、より魅力的にするための皆様の生の声をお聞かせいただければうれしいです。ご参加お待ちしております。

お知らせします！　国民健康保険の医療費

【医療費の増加】

国民健康保険では、加入者の皆さんが病気やケガで、医療機関にかかった時、3割（年齢や所得などによって1割～2割）の支払いですむように医療費の7割～8割を負担しています。（70歳～74歳の現役並所得者（3割）以外の負担割合が1割から2割になりましたが、加入者の皆様は1割負担のままで、1割分は国が負担します。）その支払いが年々増加傾向にあります。特に一般医療では加入者数は昨年とかわらないものの、一人一人の医療費が大幅に増加し、県内でも高いものとなっています。退職医療（会社などを退職して年金を受けられる75歳未満の人とその被扶養者【平成20年度からは65歳未満】）に加入されている方は、加入者数は増加傾向にありますが、医療費は減少傾向にあります。



【医療費の節減のために】

一人一人が健康であれば、医療費は節減できます。しかし病気にかかったときには無理をしないで、次のことに気をつけて医療費を節減しましょう。

◆重複診療はやめましょう
一つの病気で病院を転々としたり、必要以上の薬を求めたりするのはやめましょう。医療費の無駄遣いになるだけでなく、かえって体に悪い場合もあります。

◆早期発見・早期治療に努めましょう
体調の変化に気付いたら、我慢せずに早めに受診してください。

◆自分自身で健康管理をしましょう
毎日規則正しい生活をし、食事・睡眠・運動をバランスよく取り入れて、病気を予防することは何よりも大切です。

◆特定健診を受けましょう
40歳～75歳未満の方が対象です。平成20年度に受診されていない方は、来年は必ず受けて下さい。

海士剣友会大健闘！

第50回全隠岐剣道選手権大会

９月１４日（日）、隠岐の島町総合体育館（レインボーアリーナ）で第５０回全隠岐剣道選手権大会が行われ、島前島後から総勢７０名余りの選手が参加しました。小学生の部においては団体戦に１２チーム、個人戦には４９名が参加し熱戦の数々を繰り広げました。

小学生の部団体戦ではみごと１位に輝くという好成績をおさめました。

大会結果は以下の通りです。

【大会結果】

◆団体戦小学生の部
　１位　海士剣友会Ａチーム
　　（宇野　翼、青木海渡、中川拓海）

◆小学生５年生男子の部
　４位　真野海成（海士剣友会）

◆小学生６年生男子の部
　１位　中川拓海（海士剣友会）
　２位　青木海渡（海士剣友会）

◆小学生中学年女子の部
　２位　久保鈴夏（海士剣友会）
　３位　中川美希（海士剣友会）

◆小学生高学年女子の部
　４位　宇野由華（海士剣友会）

賞状とトロフィーを手に健闘した海士剣友会剣士のみなさん

女性と子どもを守る月間です！

女性への暴力は犯罪です。
一人で悩まないで、相談してください。

女性に対する暴力をなくす運動

平成20年11月12日（水）～11月25日（火）

子どもの虐待をなくそう！
「おかしい」と感じたら迷わず連絡してください。

児童虐待防止推進月間

平成20年11月1日（土）～11月30日（日）

【相談窓口】
＊ 海士町役場　健康福祉課　TEL　08514-2-1823
海士町大字海士1490番地
＊ 中央児童相談所隠岐相談室　TEL　08512-2-9810
隠岐の島町港町塩口24

『人権週間』始まる！

１２月４日から１０日までは「人権週間」です。
「人権週間」に当たって、私たち一人ひとりが「人権」について今一度考え、明るく豊かな住みよい社会をつくりましょう。
なお、毎日の生活の中で、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、悩みごとや困りごとをお持ちの方は、松江地方法務局西郷支局（ＴＥＬ ０８５１２－２－０２４０）又は、お近くの人権擁護委員にご相談下さい。また、週間中に特設人権相談所が開設されますので、お気軽にご利用下さい。
当町の人権擁護委員は次の方々です。

和多田	委久	福井	２－０５７５
山中	知子	中里	２－０６５８

10月・11月はトレーサビリティ月間です

食の安全安心のためにトレーサビリティシステム（食品情報の追跡・遡及が可能な仕組み）やGAP手法（農業生産工程管理手法）に取り組む生産・流通団体が増えています。
島根県では、多くの消費者にこの取り組みについて理解を深めてもらうため、関係団体とともに１０月、１１月を「トレーサビリティ月間」として啓発キャンペーンを行います。

○主な内容
＊安全安心農畜産物プレゼントキャンペーン（１１月末まで）
＊安全・安心・おいしさ満載市＆しまね牛乳まつり（１１月２９日【土】・くにびきメッセ大展示場）

▼しまね消費者問題フォーラム２００８同日開催（くにびきメッセ５階大会議室）

島根県農畜産振興課食料安全推進室
TEL　0852-22-5138　FAX　0852-22-6043

裁判員制度～初めての名簿記載通知を目前に控えて

来年５月２１日から裁判員制度は始まります。裁判所では、本年１０月下旬から１１月上旬ころまでの間に翌年分の裁判員候補者名簿に記載されたことの通知（名簿記載通知）をお送りします。この通知は、翌年裁判所にお越しいただくためのお知らせ（呼出状）が届く可能性があることを事前にお伝えするものです。裁判員制度へのご理解とご協力をお願い致します。

○　裁判員候補者名簿に載った方には、本年１１月下旬から１２月上旬ころまでの間に、名簿に記載されたことの通知（名簿記載通知）をお送りします。この通知は翌年、裁判員を選任するための手続きを行う期日に裁判所にお越しいただくためのお知らせ（呼出状）が届く可能性があることを事前にお伝えし、あらかじめ心づもりをしていただくためにお送りするものです。

○　裁判員候補者名簿に載った方には、この名簿記載通知のほか、調査票をお送りします。調査票は、できるだけ早期に裁判員になることができない事情等をお尋ねすることにより、無用に裁判所にお越しいただくことを避け、裁判員候補者の方々のご負担を軽減するためのものです。ご記入・ご返送につきご協力下さい。

＊裁判員制度の詳細については裁判員制度ウェブサイト（http://www.saibanin.courts.go.jp/）

松江地方裁判所事務局総務課
TEL　0852-23-1701

障害のある方を対象としたＮＨＫ放送受信料の免除基準が変わります

平成２０年１０月１日から免除基準が変わります。

【全額免除】

「身体障害者」「知的障害者」「精神障害者」が世帯構成員であり、世帯全員が市町村民税（住民税）非課税の場合に、全額免除となります。

＊　従来の「身体障害者」「重度の知的障害者」から対象を拡大します。

＊　生活状態の条件を「市町村民税非課税」に統一します。

【半額免除】

視覚・聴覚障害者が世帯主の場合に半額免除となります。

＊　視覚・聴覚障害者の免除基準の変更はありません。

重度の障害者（身体障害者、知的障害者、精神障害者）が世帯主の場合に、半額免除となります。

＊従来の「重度の肢体不自由者」から対象を拡大します。

【従来の免除基準と新しい免除基準（平成20年10月1日から）】

	全額免除【障害者の方を世帯構成員に有する場合】		半額免除【障害者の方が世帯主の場合】	
	平成20年9月30日まで	平成20年10月1日から	平成20年9月30日まで	平成20年10月1日から
身体障害者	生活保護法による最低生活費の額に身体障害者特別加算額を加算した額の費用によって営まれる生活状態以下の世帯	世帯構成員全員が市町村民税非課税	●視覚・聴覚障害者 ●重度の肢体不自由者	●視覚・聴覚障害者（変更なし） ●重度の身体障害者（内部機能障害等を追加）
知的障害者	重度の知的障害者を構成員に有する世帯で、世帯構成員全員が市町村民税非課税	世帯構成員全員が市町村民税非課税（重度以外も対象）	適用外	重度の知的障害者
精神障害者	適用外	世帯構成員全員が市町村民税非課税	適用外	重度の精神障害者

●受信料免除の申請手続き等については下記へお問い合わせ下さい。

フリーダイヤル　０１２０－１５１５１５（放送受信契約のお申し込みや転居のご連絡）

【受付時間：午前９時～午後９時】（土・日・祝日は午後８時まで）

または、海士町役場健康福祉課（２－１８２３）までおたずね下さい！

島根県最低賃金改正のお知らせ

島根県内の事業場に使用されるすべての労働者に適用される島根県最低賃金が次のとおり改正されました。

この金額は、平成20年10月19日以降の賃金から適用されます。

時間額　629円

なお、最低賃金には、①臨時に支払われる賃金　②1ヶ月をこえる期間ごとに支払われる賃金　③時間外労働・休日労働・深夜労働に対する賃金　④精皆勤手当　⑤通勤手当　⑥家族手当は含みませんので注意して下さい。

最低賃金については島根県労働基準部賃金室（℡0852-31-1158）または、松江・出雲・浜田・益田の各労働基準監督署までお問い合わせ下さい。

住基法の閲覧に関する実績について

平成19年11月1日から平成20年10月31日までの間の住民基本台帳の閲覧は、社会福祉協議会から一件の申請がありました。

＊住基法改正により閲覧の公表が義務付けられました。

（生活環境課住民係）

島根に恋して2008 ～地域からの贈り物～

【開催のお知らせ】

県内の地域づくり団体によって、日頃の活動の成果を発表するイベントを開催します。

1、日時・場所
平成20年12月6日（土）
午前10時～午後3時
くにびきメッセ（松江市）

2、内容
○〝地域発こだわりの逸品〟販売コーナー
○地域密着！体験コーナー
○地域づくり活動展示コーナー
○島根県コーナー

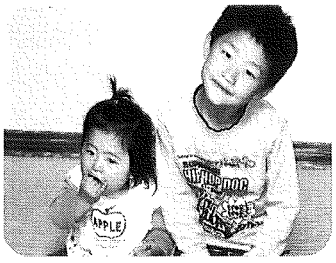
3、参加団体
11月上旬からホームページに順次掲載します。
http://www.teiju.or.jp/

※問い合わせ先
財団法人ふるさと島根定住財団：定住支援課
℡0852―28―0690

合格おめでとう

全国珠算学校連盟
第210回暗算検定合格者
3級　佐伯　良太（東）　9/28実施

すくすく海士っこ



真野　優太（ゆうた）くん
（H14.12.5生まれ）
あかり　ちゃん
（H19.10.6生まれ）
和男さん・小百合さんのお子さん
（福井在住）

お兄ちゃん、お姉ちゃんに、いつもおもちゃにされてるから、強い女の子になるぞ!!

このコーナーでは、就学前までのお子さんを紹介しています。写真とコメントを添えてお送り下さい。お待ちしています。

問い合わせ先：総務課広報係
℡2―0115

戸籍の窓

8/1～9/30届出分（太字は地区在住者）

すこやかに

今本　大樹くん　芳久　東
瀧川こころちゃん　太一　中里
銭谷美莉菜ちゃん　茂樹　北分
飯森　心胡ちゃん　基広　東在住
大野　陽愛ちゃん　英樹　東
山本　乃々ちゃん　敏晴　宇受賀
岡本　太郎くん　貴志　保々見
新脇帆乃果ちゃん　和彦　崎
原　啓太くん　謙二　崎

しあわせに

坂本　哲司さん　井藤　貴子さん　知々井
渡邊　潤さん　村上　愛子さん　宇受賀
村越　幹生さん　川名　淳子さん　西
山田　明彦さん　船田　裕子さん　崎
岡本　孝史さん　大河　純子さん　中里

やすらかに

岩本　薫さん	宇野　弘美さん	北分
宇野　裕之さん	小坂千恵美さん	北分
楠見　星彦さん	松田真美子さん	崎
有馬　広晋さん	長尾沙也加さん	東
中西　哲也さん	平尾　綾子さん	日須賀
見崎　正歳さん	田中みゆきさん	福井

新宅　常男さん　崎　92歳
山河　喜雄さん　福井　86歳
山中マサ子さん　北分　85歳
下田ハルカさん　中里　77歳
播摩タニ子さん　崎　83歳
冨田　益蔵さん　菱浦　79歳
三好美恵子さん　菱浦　50歳
村尾　利久さん　東　83歳
花田　健三さん　崎　91歳
中沼チヨノさん　西　87歳
高松　孝明さん　中里　71歳
桑本ヒサエさん　菱浦　92歳

紙上からお礼

●香典返し
金一封　播摩　美男様（崎）
金一封　冨田　登様（菱浦）
金一封　真井　義孝様（北分）
金一封　村上　健様（宇受賀）
金一封　桑本　康平様（菱浦）
金一封　花田　岩雄様（松江市）
金一封　上川秀男親戚ご一同様
金一封　高松　晃様（名古屋市）
金一封　津久田隆樹様（保々見）
金一封　山河フサ子様（福井）

●寄附金
金一封　齋藤チトリ様（菱浦）
金一封　宇野　昭三様（北分）

●見舞い返し
金一封　佐藤　栄吉様（菱浦）
（海士町社会福祉協議会・特別養護老人ホーム諏訪苑より）

●広報郵送料
金一封　八籏　篤様（四条畷市）
金一封　中川　和美様（大東市）
金一封　坂田登与子様（茨木市）
金一封　蛭子ヨシ子様（神戸市）
金一封　田中　達郎様（箕面市）
金一封　村上　勲様（千葉県）
金一封　曽田　政則様（岩手県）
金一封　小沢　千月様（東京都）
金一封　藤田　良三様（門真市）
金一封　中村　敏子様（交野市）
金一封　山口マサ子様（豊中市）

就職フェアしまね（冬期）開催のお知らせ

企業の採用担当者による面接・情報提供を行う就職面接会を開催します。

1、日時・場所
平成20年12月6日（土）
午後1時～午後4時
くにびきメッセ（松江市）

2、対象者
2009年3月大学等卒業予定者、2008年3月大学等卒業後未就職の方など

3、参加企業
11月中旬から「ジョブカフェしまね」のホームページに順次掲載します。
http://www.jobcafe-shimane.jp/

※問い合わせ先
ジョブカフェしまね
（財団法人ふるさと島根定住財団）
℡0852―28―0691